

眼科研修

◇ 研修目標および特徴

当科は眼科疾患の外科的治療が専門であり、白内障のみならず糖尿病網膜症や網膜剥離、穿孔性眼外傷などの難治性網膜硝子体疾患を中心に手術加療を行っている。

研修にあたっては、他施設では類をみない豊富な症例をもとに、角結膜疾患や、ぶどう膜炎、神経眼科疾患などはもちろんのこと、当科の特徴である網膜硝子体疾患や、緊急性のある眼外傷に対し適切に診断し、速やかに対応する能力の育成を目標とする。

◇ 研修内容

a) オリエンテーション（1週間）

外来、病棟、手術室での指示方法、事務的処置についてマスターする。

b) 各人の経験歴により、外来、手術助手から開始。

病棟患者の受持ちは、研修医期間全てに渡って義務とする。

マンツーマン指導により手術方法や執刀医としての考え方を学び、将来に向け自立することを目標とする。

c) 症例カンファレンスに参加し、各種症例に対し質疑応答を繰り返すことで多様な疾患について深く理解するとともに対応能力を獲得する。

d) 臨床研修のみならず、学会発表、論文発表などについても積極的に行う。

◇ 指導スタッフ(卒業年度、認定医、指導医)

| | | | |
|----|-------|----------|-------------------------------------|
| 部長 | 恵美 和幸 | 昭和 52 年卒 | 日本眼科学会専門医、大阪大学臨床教授 日本網膜硝子体学会名誉会員 |
| 医員 | 池田 俊英 | 平成 4 年卒 | 日本眼科学会専門医 |
| | 井上 亮 | 平成 16 年卒 | 日本眼科学会専門医 |
| | 森本裕子 | 平成 18 年卒 | 日本眼科学会専門医 |
| | 中島浩士 | 平成 20 年卒 | 日本眼科学会専門医 |
| | 小林 航 | 平成 23 年卒 | 日本眼科学会専門医 |
| | 神田慶介 | 平成 24 年卒 | 日本眼科学会専門医 |
| | 川上龍三郎 | 平成 25 年卒 | 日本眼科学会専門医 |
| | 石原健太郎 | 平成 25 年卒 | 日本眼科学会専門医 |

◇ 診療実績（年間）、診療設備

眼科専用手術室が整備されており、網膜剥離や外傷、眼内炎等の緊急手術を含め年間約 6000 件以上の手術を行っている。内訳は白内障手術 5772 件、硝子体手術

1352 件、網膜復位手術 61 件、緑内障手術 76 件 その他外眼部手術（2018 年実績）である。外来で行う処置では、網膜光凝固術や YAG などのレーザー治療約 2000 件である。

設備面では、フルオレセイン蛍光眼底造影 (FA)、超広角走査レーザー検眼鏡 Optos、光干渉断層計 (OCT)、前眼部 3 次元光干渉断層計 (前眼部 OCT)、超音波生体顕微鏡 (UBM)、マイクロペリメトリー MP-3、IOL マスター、OCT angiography などの最新機器を取り揃えている。

院内のネットワーク構築により手術映像は 4K の高画質でリアルタイムに外来、医局、病棟に配信されており、指導医の手術を通じて手術経験の共有が図れる。

◇ 週間スケジュール

| 曜日 | AM | PM |
|----|------|--------------------------|
| 月 | 外来診療 | 病棟診察 院内 C P C |
| 火 | 外来診療 | 病棟診察 |
| 水 | 手術助手 | 病棟診察 スライドカンファ 手術助手 |
| 木 | 手術助手 | 病棟診察 手術助手 |
| 金 | 外来診療 | 病棟診察 |

◇ 専門医、認定医、教育病院など学会の指定状況

日本眼科学会臨床研修指定病院

眼科研修プログラム施行施設（認定 2282 号）

眼科専攻医研修プログラム 基幹施設（認定 1817270007 号）